

31 元日の地震体験（21）

（杉田さん）

た時にまだ屋根にブルーシートがかかっていたりだとか、解体を待っているような家もあったりだとか。そういうものを見ながら、どうしても質問したいというか。震災の記憶はだんだん時を経るにつれて、記憶が薄れていくと思うのですね。でも忘れてはいけないこともあると思うのですが、その辺で何を。

三重県は特に南海トラフ地震が来るかもしれない、と言われている所なので、そういう所でこれは大事だよ、というものがあれば、地域の助け合いを、もっときちんとしておかないといけないよとか、備蓄品を蓄えておいた方が良いよとか。地域住民に知ってもらうための取組をした方が良いとか。自治会にもっと関わった方が良いとか。そういった経験を踏まえた、お伝えしていただければ、教えていただきたいと思うのですが。いかがですか。

（川崎さん）

今、自分たちの地域は、穴水町というところですが、何も解決してないのですが、復興も進んでいないのですが、一部では言葉だけで、この地震の記憶を風化させないための、語り部さんを募集したりだとか。募集というのはあれですけど。こうでした、「ああでした」という体験談を言うのはボツボツと出ていますけど、今後に生かそうとか。そういう状況にあわせて、こうした方が良いということの話し合いは、小さくはそれぞれの単位でやっていますが、まだそんなにまとまって、大きな方向性が出ている状況ではないような、自分たちの町ではそう思います。避難のことにしろ、何にしろ。

（杉田さん）

課題がたくさんあって進んでいない。